

授業科目名	教育相談	科目コード	K1504P03
英文名	Educational Counseling		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	宮田 徹
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教育現場で起きている、いじめ・不登校・学級崩壊・非行など様々な問題の原因と背景を理解し、適切な援助のための方法としてカウンセリング・マインドに基づく教育相談の理論と方法について学ぶ。併せて、教育相談と並んで、教育問題への対応に重要な役割をもつ生徒指導の理論と方法についても学ぶ。さらに、家族への援助・校内スタッフとの協力・他機関等とのあり方について考える。（担当教員：教育・福祉現場での実務経験あり）</p>		
-------	---	--	--

キーワード	教育相談	生徒指導			
-------	------	------	--	--	--

到達目標	1 発達途上の児童・生徒が示す課題や問題行動、悩み等への援助を行い、その適応を図り、心理的に健康な成長を促進するための教育実践である教育相談の基本的事項を理解し、主な問題の原因・背景と対応について説明できる。（70%）				
	2 児童・生徒の健やかな成長・発達を援助する教育相談に関心をもち、実践力向上への意欲をもち。（30%）				

卒業要件・資格関連等

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	教育相談とは(1) 学校教育相談の意義と課題 【資料】レジュメ 配布用シラバス	
	【予習】学校教育相談の意義について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】教師が行う教育実践としての「学校教育相談」の意義について、授業内容を確認し理解を深める 参考文献 宮田徹・水田聖一(2009)「学校教育相談とカウンセリング・マインド-教育とカウンセリングの関係について-」『富山国際大学国際教養学部紀要』5,59-70。(PDF))	90分
第2回	教育相談とは(2) 教育実践としての学校教育相談 学校教育相談の実際 【配布資料】(第1回つづき)	
	【予習】学校教育相談の意義について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】教師が行う教育実践としての「学校教育相談」の意義について、授業内容を確認し理解を深める 参考文献 近藤邦夫(1994)「教師と子どもの関係づくり-学校の臨床心理学-」東京大学出版会 鯨岡峻(1998)「両義性の発達心理学-養育・保育・障害児教育と原初的コミュニケーション」ミネルヴァ書房 尾崎新(1999)「「ゆらぐ」ことのできる力-ゆらぎと社会福祉実践-」誠信書房	90分
第3回	カウンセリングの理論と実際(1) カウンセリングの基礎 カウンセリング・マインド 【配布資料】【参考:他者理解】	
	【予習】カウンセリングの基礎について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】カウンセリングの基礎について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第4回	カウンセリングの理論と実際(2) カウンセリング的関わりの目標と実際 【配布資料】(前回の続き)【参考:面接基本的応答技法】	
	【予習】カウンセリングの基礎について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】カウンセリングの基礎について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第5回	児童・生徒の問題の理解と対応、問題の種類と発生のメカニズム・対応と援助 【配布資料】	
	【予習】児童・生徒の問題の種類や発生のメカニズム等について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】児童・生徒の問題の種類や発生のメカニズム等について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第6回	児童・生徒理解の精神医学的な基礎、発達障害・神経症・精神病各症状の理解、治療と援助の実際 【配布資料】【参考:発達障害者支援法】	
	【予習】「児童生徒理解の精神医学的基礎」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「児童生徒理解の精神医学的基礎」について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第7回	不登校の理解と対応 【配布資料】	
	【予習】不登校の理解と対応について、テキストの該当部分を読んでおくこと 参考資料 「生徒指導提要（抜粋）」「不登校児童生徒への支援に関する最終報告（概要）（H28年7月）」	90分
	【復習】不登校の理解と対応について、授業内容を確認し理解を深める 参考：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」 文部科学省「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針の策定について（通知）」平成29年4月4日 文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」令和元年10月25日	90分
第8回	いじめの理解と対応 【配布資料】	
	【予習】いじめの理解と対応について、テキストの該当部分を読んでおくこと （参考） 「生徒指導提要（抜粋）いじめ」 生徒指導支援資料5「いじめに備える基礎知識」 （参考リンク）「いじめ」をテーマにした生徒指導支援資料（国立教育政策研究所：生徒指導・進路指導研究センター）	90分
	【復習】いじめの理解と対応について、授業内容を確認し理解を深める 参考：文部科学省ホームページ「いじめの問題に対する施策」 「いじめ防止対策推進法」（チラシ）（概要と本文）	90分
第9回	学級崩壊の理解と対応 【レジュメ】 参考配布資料「回復事例」（H12年3月学級経営研究会「学級経営の充実に関する調査研究」（最終報告書）から抜粋）	
	【予習】学級崩壊の理解と対応について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】学級崩壊の理解と対応について、参考資料も含めて、授業内容を確認し理解を深める	90分
第10回	反社会的行動の理解と対応 【レジュメ】 （参考）「非行への対応」	
	【予習】参考資料「生徒指導提要（抜粋）少年非行」及びテキストの該当部分（第8章）を読んでおくこと	90分
	【復習】「反社会的行動の理解と対応」について、授業内容を確認し理解を深める （参考）法務省ホームページ「犯罪白書」リンク 「令和2年度犯罪白書のあらまし」（PDF）	90分
第11回	神経症的問題の理解と対応 【資料】レジュメ+参考「神経症について」	
	【予習】「神経症的問題の理解と対応」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「神経症的問題の理解と対応」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第12回	開発的カウンセリング 【資料】レジュメ （参考）「共同絵画」「3つの話し方」	
	【予習】「開発的カウンセリング」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「開発的カウンセリング」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第13回	開発的カウンセリング(2) 開発的カウンセリングの実践するにあたっての留意点 【資料】（前回と同様）	
	【予習】「開発的カウンセリング」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「開発的カウンセリング」について、授業内容を確認し理解を深める	90分

第14回	<p>保護者に対する援助の課題と実際 【資料】レジュメ (参考)「中年の挫折感」(氏原寛(1990)『心の一生』ミネルヴァ書房より)</p>	
	【予習】「保護者に対する援助」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
	【復習】「保護者に対する援助」について、授業内容を確認し理解を深める	90分
第15回	<p>校内での協力体制、他機関との連携、援助ネットワーク 【資料】スライド / 印刷用 参考動画「地域学校協働活動」(文部科学省)</p>	
	【予習】「校内での協力体制」「他機関との連携」について、テキストの該当部分を読んでおくこと	90分
第16回	<p>前期末レポート課題 テーマ：あなたは、発達途上のさまざまな課題や問題行動、悩み等を示す子ども(幼児、児童、生徒)に関わる際、どのような教師でありたい(どのような教師が望ましい)と思いますか。授業での学びを踏まえて、あなたの目指す教師像(理想の教師像)を述べなさい。 形式等：A4,1ページ。1200字～1600字(40字40行)。表紙は不要。1行目に学籍番号・氏名を明記。2行目をタイトルとし、3行目から本文をはじめること。 提出場所：Webシラバス第16回【課題1】のリンクからWordファイルで提出すること。ファイル名は「教育相談レポート.docx」とすること。(学籍番号+氏名はWebシラバスの方で自動的に付与されます) 提出期限：2021年8月6日(金)18:00まで フィードバック：課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。</p>	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目1は期末筆記試験またはレポートで評価する。(70%) 到達目標項目2は主に受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(30%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：15% 社会性：15% 専門性：70%</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	一丸藤太郎他編著『学校教育相談』(ミネルヴァ書房)	使用資料 <参考図書>	随時、参考文献を紹介する。 文部科学省「生徒指導提要」
----------------	---------------------------	----------------	--------------------------------

授業外学修等	<p>予習として、テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習として、テキストや配布資料、提示した参考文献や推薦図書等を読み、理解を確かにすること。 課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。</p>
授業外質問方法	連絡方法は初回の授業で伝達する。
オフィス・アワー	水曜日2限, E507研究室(この時間以外でもなるべく対応します)